# ふくいマラソン(仮称)基本計画書

## 1 大会概要

大会名称: ふくいマラソン(仮称)

※仮称とし、大会スローガンやロゴマークとともに検討

開催時期: 北陸新幹線福井・敦賀開業後の春季、日曜日

競技種目: フルマラソン (42.195km)

日本陸連登録競技者の部、一般の部

・ ファンランの部、オンラインマラソンの部の併設を検討

制限時間: 6~7時間(フルマラソン)

**スタート時間**: 午前9時

**参加定員:** 10,000人 (フルマラソン 8,000人、ファンラン 2,000人)

将来的な規模拡大を想定

参加料: 10,000円~ (フルマラソン)

#### 2 開催目的

① 福井の魅力を全国に発信

② 交流人口の拡大

③ 地域経済の活性化

4 スポーツ文化の醸成



並木



さが桜マラソン2019大会

# 3 大会コンセプト

北陸新幹線福井・敦賀開業という福井にとって新時代の幕開け 大会を通して**みんなに福井の新時代を実感**してもらえるよう、以下のコンセプトを設定

# 福井発の全国に誇れるとんがったフルマラソン

- ・ 桜を大会の顔とし、福井のいいところ「福いいネ! | を国内外に発信
- ▶ 福井独自の取組を創出、シティプロモーションの最先端を走る

# ● 全都道府県で一番最後だけど一番新しい、新世代のフルマラソン

- ・ 全国最後だからこそできる新しい大会のあり方を追求
- これからの時代に対応した持続可能な大会へ

#### はしる、みる、ささえる + つながる フルマラソン

- ・ 走る楽しさを追求するとともに、誰もが主人公となれる大会へ
- 地域の盛り上がりを創出する福井のフラッグシップイベントへ

#### 大会スローガン

開催目的やコンセプトに沿った、インパクトのあるスローガンを制作

#### 大会ロゴマーク

福井らしく、デザイン性に優れたものを制作

#### 4 大会の特徴

【イメージ】



# トップランナーの支援・活用のカタチ

次世代トップランナーや未来ある子ども達を応援する、福井発のマラソン による地域活性化の枠組みを創出

- ・ 次世代トップランナーなど、大会上位入賞者への活動奨励金や県内ジュニア選手 育成のための助成を実施(応援ファンドの設置など)
- ・ 大会上位入賞者を「ふくい応援ランナー(仮称)」に認定し、県民・市民で未永く応援
- ・「ふくい応援ランナー(仮称)」が全国区の有名トップランナーになることで、福井をPR
- ・ 子ども達との交流の場を作り、未来のトップアスリートを目指すきっかけを創出

なと



# 2

# マラソン × デジタル 新しい大会のカタチ

マラソンをデジタルで楽しむ、新しい大会のあり方を追求

- みんなが楽しく参加できるオンライン大会の併設・活用
- ・ マラソンを楽しく応援できる・される、新しいデジタル応援ツールの開発

など



# マラソンで、みんなが "つながる" カタチ

マラソンのつながりが、人と人、人と福井をつなぐ仕掛けを展開

- ・ ボランティア向けイベントの開催など、ボランティアにとっても満足度が高く、活動のつながりを継続できる仕掛けを構築
- ・ 県内マラソン大会をはじめ、様々なイベントと連携し盛り上がりを創出
- 大会を契機とした県内周遊、ワーケーションなど、県外参加者と福井をつなぐ

など

# 5 大会運営 ※以下の取組みを実施・検討する。

大会実行委員会を設立し、協賛企業、ボランティアなどの協力を得ながら運営 デジタル化や新しい技術・手法を積極的に取り入れながら、効率的、効果的な運営

#### 競技計画

**党 競技種目** … ファンランの部(障がい者含む)、<u>オンラインマラソンの部の併設</u>

🐈 S D Gʻs (持続可能な開発目標)への対応 …

ORコード受付、プログラムや完走証のウェブ発行によるペーパレス化等

#### 運営計画

🇌 **ボランティア活動の推進** … ボランティア活動のつながりを継続できる仕掛けを構築

など

# ふくいマラソン(仮称)基本計画書

## 6 大会・地域の盛り上げ ※以下の取組みを実施・検討する。

県民・市民みんなで楽しんで参加してもらえる仕掛けを構築

#### (1)参加者裾野拡大事業

- ・ ランニング教室・イベントの開催(初心者向け教室、有名ランナーの招聘等)
- ・ 県内ランニングクラブ活動の推進(練習会や記録会等、草の根の活動を活性化)

#### (2) 開催機運醸成事業

- 県内マラソン大会との連携 (スタンプラリー、各大会上位入賞者の本大会への招待)
- ・ オンラインマラソン大会の開催 (県内だけでなく全国への情報発信に活用)

#### (3)プレ大会開催事業

本大会開催に向けた機運を高め、県民・市民の目標となるプレ大会の開催

#### (4) 沿道応援・おもてなし事業

- ・ 桜を感じることができる華やかな演出(さくら色の手袋による応援やフォトブースの設置など)
- 応援スポット・パフォーマンスエリアの設置(公募団体によるよさこいやチアダンスなど)
- **デンタル応援ツールの開発**(楽しく応援できる・されるアプリの開発など)
- ・ つぼみ(キッズ)エイドの設置(子ども達が主役のエイドステーション(給水・給食))
- 「ふくいマラソン(仮称)」応援事業の募集(大会を一緒に盛り上げてもらう事業の公募)

#### (5) トップランナーの支援・活用による地域活性化事業

🍄・ 次世代トップランナーや子ども達を応援する福井発の新しい枠組みを創出

# 地域への経済波及 ※以下の取組みを実施・検討する。

経済効果を県全体へ波及させるための仕掛けを構築

#### (1)福井の魅力発信・おもてなし事業

- ▶ 「ふくいマラソン(仮称)」EXPOの開催(大会に合わせた物産イベントで福井の魅力を発信)
- エイドステーション(給水・給食)で福井の魅力的な食を提供し、全国に発信
- ・ 完走記念品等に福井の優れた地場産品を活用し、全国に発信
- ・マラソンビジネスの創出 (大会コラボ商品の開発やDX等による新商品の開発支援など)

#### (2)中心市街地等連携事業

- ☆ 中心市街地等と連携したイベントの実施(福井駅前や丸岡城付近での賑やかしイベント)
  - 消費拡大キャンペーンの実施(ナンバーカードを利用した割引特典などの付与)

#### (3) 観光誘客促進事業

- 参加者向け観光ツアーの企画・造成(出走権付ツアーや県外・国外参加者向けツアー)
- **† 県内周遊クーポン等の発行**(大会を契機に福井のファン・リピーターの獲得)
- ワーケーションや移住定住プランの企画・造成 (大会を契機に福井の魅力をより満喫)

## ■コース設定■

#### (1)基本方針

- ① 福井の魅力を感じることができる、トップランナーからビギナーまで走りやすいコース ※日本陸上競技連盟の公認を取得
- ② 応援やおもてなしなどで多くの県民・市民がランナーと触れ合うことができるコース
- ③ ランナーやボランティア、応援者の安全が確保でき、将来的な規模拡大に対応できるコース
- ④ 迂回路の確保など、交通への影響を抑制できるコース

#### (2) スタート・フィニッシュ地点の考え方 「福井駅西口付近」を基本として検討





#### く選定理由>

- 大会に関わる様々な参加者に高い利便性があり、ランナーへの訴求につながること
- ・都市型マラソンでは全国的に稀な駅前発着であり、話題性があること
- 中心市街地と連携したイベント開催による賑わいの創出など、地域の盛り上げや、 経済効果を高めるに相応しい会場であること

#### (3) コース概要

全国に誇れる福井の桜の名所を中心に、以下のランドマーク、景勝地等を経由地の 候補としてコースを検討 ※検討結果によっては経由しない場合がある。



2/2